



おなかの中の赤ちゃんは、いつごろから動き始めるの

お母さんが感じるのは、17週の初めから

お母さんが、おなかの中の赤ちゃんが動くのを感じるのは、赤ちゃんの命が、お母さんのおなかの中にめばえて、17週の初めからといわれています。しかし、おなかの中の赤ちゃんは、7週くらいたったころには、もう、お母さんのおなかの中で動いているのです。

しかし、赤ちゃんが小さいため、お母さんは赤ちゃんが動くのを感じないのです。

そして、9週ごろには、体全体を動かすようになり、12週ごろには、かなり活発になり、14週ごろには回転までできるようになります。そして、15週をすぎたころには、手足を動かしたり、口をぱくぱくさせたり、ますます、活発に動くようになるようです。

赤ちゃんは、生まれてくるための準備をしている

わたしたちの体は、小さな小さな細胞からできていて、その数は全部で60兆もあるといわれています。筋肉も骨も内臓も、みんな細胞が集まってできているのです。

赤ちゃんの命は、お父さんの体の中にある精子というものと、お母さんの体の中にある卵子というものが、いっしょになったときに始まります。

精子や卵子も、小さな小さな細胞です。それがいっしょになって、赤ちゃんになるわけですから、赤ちゃんの命の始まりは、1個の細胞ということができます。

1個の細胞から、どんどん細胞の数を増やし、体のいろいろな器官をつくりながら、赤ちゃんはどんどん成長して、だんだん、人間の赤ちゃんらしい、体になってくるのです。

このように、おなかの中の赤ちゃんは、体をつくったり運動をしたりと、生まれてくるための、準備をしているのです。（監修・保志 宏）

